みんなで取り組む環境活動

高崎市立滝川小学校

１　取り組みの概要

本校は、高崎市の南東部に位置し、全校児童２６７名の学校です。「花の学び舎」をスローガンに、環境学習を教育課程に取り入れ、全学年の児童が植物や環境について６年間系統的に学んでいます。

２　令和７年度の活動内容

①　花いっぱい運動

日頃の作業で中心となっているのは、環境委員会の児童です。毎日花に水やりをして世話をしています。夏から秋にかけては、花壇にはコスモスやマリーゴールド、プランターにはニチニチソウやペチュニアを植えて育てました。秋から冬にかけては、花壇にはパンジーやビオラ、アリッサム、プランターにはパンジーを植えて育てています。また、低学年を中心に秋から冬にかけてチューリップやスイセン、ビオラなどを一人一鉢育て、卒業式の装飾用として心を込めて手入れをしています。

②　エコチャレンジ

日常的にペットボトルキャップ回収を行っていますが、年３回強化週間を設け、クラスごとに回収して回収量の多いクラスには感謝状を贈りました。全校児童が意欲的に活動に参加することができました。

③　ごみの分別

各教室に、紙ごみ用とプラスチックごみ用の２種類のごみ箱を設置し、ごみの分別に全校で取り組んでいます。給食の牛乳パックは毎日環境委員会の児童が各クラスから回収し、紙ごみとし分別を行っています。授業等でも必要に応じて反故紙の裏面利用等を行い、紙の無駄を省く工夫をしています。古紙も回収し、リサイクルに回すよう全校で取り組んでいます。

３　取り組みの見直し及び今後の活動

花いっぱい運動は委員会の児童をはじめ、全校で取り組むことができ、進んで自然に関わっていこうとする意欲のある児童が増えてきています。ペットボトルキャップ回収では、校内で回収量を競うことを楽しみにしながら、全児童が進んで取り組もうとしています。今後は、環境と自分たちの生活との関わりを考える機会をさらに設け、自然との共生を実践していける児童の育成に努めていきたいと思います。